

～注目すべきデータと要望～

小学1年生から小学6年生までの 小学生のみなさんへ 学校や居場所についてのアンケート

はぐくむ超党派地方議員の会
2025年12月03日



目次

はじめに

調査目的	4
調査概要	5
調査結果サマリー	6

注目すべき データ

学校が楽しいためには	8
遊べる時間をもっと長くして欲しい	10
授業以外の先生の性格を知りたい	11
学年によって求める授業の姿は変わる	12
長期の休みを過ごし方について	13

調査結果を 踏まえた要望

要望①:教育課程（＝時間割）をより一層柔軟に	17
要望②:コロナ以降も続く、窮屈なルールの見直しを	22
要望③:学年ごとのニーズに合わせた授業を	23
要望④:小学校中学年以上の長期休みの居場所を	24

Appendix

参考資料①	9
参考資料②	20
参考資料③	21

学習指導要領に子どもの声を反映して欲しい

現在、中央教育審議会（中教審）で学習指導要領の改訂が議論されています。

今回の改定には、初めて子どもの意見を反映する取組みがなされましたが、さらなる声を届けたく、小学生の子どもたち自身の声を集めました。

中教審でも教育課程（＝時間割）を一層柔軟に編成できるよう話し合われていますが、子どもたちも求めていますので、強く推し進めていただきたく、アンケート結果を根拠に国に要望するものです。

日本における小中学校の不登校児童生徒数は、35万3970人で過去最多を記録しました（2024年度の文部科学省の調査）。統計に表れない不登校ぎみ・傾向のある児童生徒数はその2-3倍とも言われています。学校に居づらさを感じているのは一部の、不登校の子どもたちに限った話ではありません。

学校がどういう居場所だったら、子どもたちは通いたいと思うのか。

学校風土を客観的数値にすることで、学校のあり方から来る不登校問題を考察したく、本調査を行ないました。

この調査が不登校問題解決のヒントになれば幸いです。

調査目的

目的：

現在、小学校に通う児童たちが学校生活をどのように感じているのか、学校風土を客観的数値にすることで、学校のあり方から来る不登校問題を考察したく、本調査を行ないました。

また、小学校の中學年以上の長期休暇の居場所問題、いわゆる小3の壁・小4の壁の問題も考察したく、長期の休み期間中の過ごし方についても調査しました。

仮説：

1. 今の小学生は友だち・教員と遊べる時間が極めて少なく、このことが不登校に繋がっているのではないか。（朝は遊べない、休み時間は短い、放課後は学童で遊べない、給食時間におしゃべりできない、行事・イベントが少ない、等）

2. 小学校中学年以上になると学童に行かなくなるため、夏休みなどの長期休みを自宅で一人で過ごすようになり、その多くがゲームやインターネットで過ごすのではないか。

調査概要

1. 調査期間：2025年9月16日～2025年10月7日(22日間)
2. 調査形式：Googleフォーム
3. 調査方法：SNSでの拡散／個人的知り合いへの拡散／フリースクール等に通う保護者への拡散／公園やイベントなどのチラシ配布 等
4. 対象者属性：一都三県にお住まいの小学生（1年生から6年生）
5. 143 件（女性：67件、男性：73件、その他・無回答：3件）
6. 調査内容：小学校1年生から6年生の児童を対象に、学校生活やそれ以外の生活の居場所について、大きく以下の 2 種類の質問について意識調査を行った。
 - A) 学校生活をより楽しく過ごすためにはどのようなことが必要だと思うか。
 - B) 夏休みなどの長期の休みの期間にどのような過ごし方をしているか。

調査結果サマリー

・不登校について、より「子ども目線＆広い視野」での調査であることが特長

- 従来の調査は学校や大人の回答によるものが多いが、本調査は小学生自身の声
- 不登校状態にある子どもだけでなく、『ぎみ』『傾向』者も含めた実感調査

・小学生自身の実感から得られた新たなファインディングス

- 学校の「居場所」「通いたい」に影響する要素として、休み時間のあり方、教員との（授業外での）コミュニケーション・接点、給食時のルール、長期休み期間中の居場所といった各観点が浮かび上がった

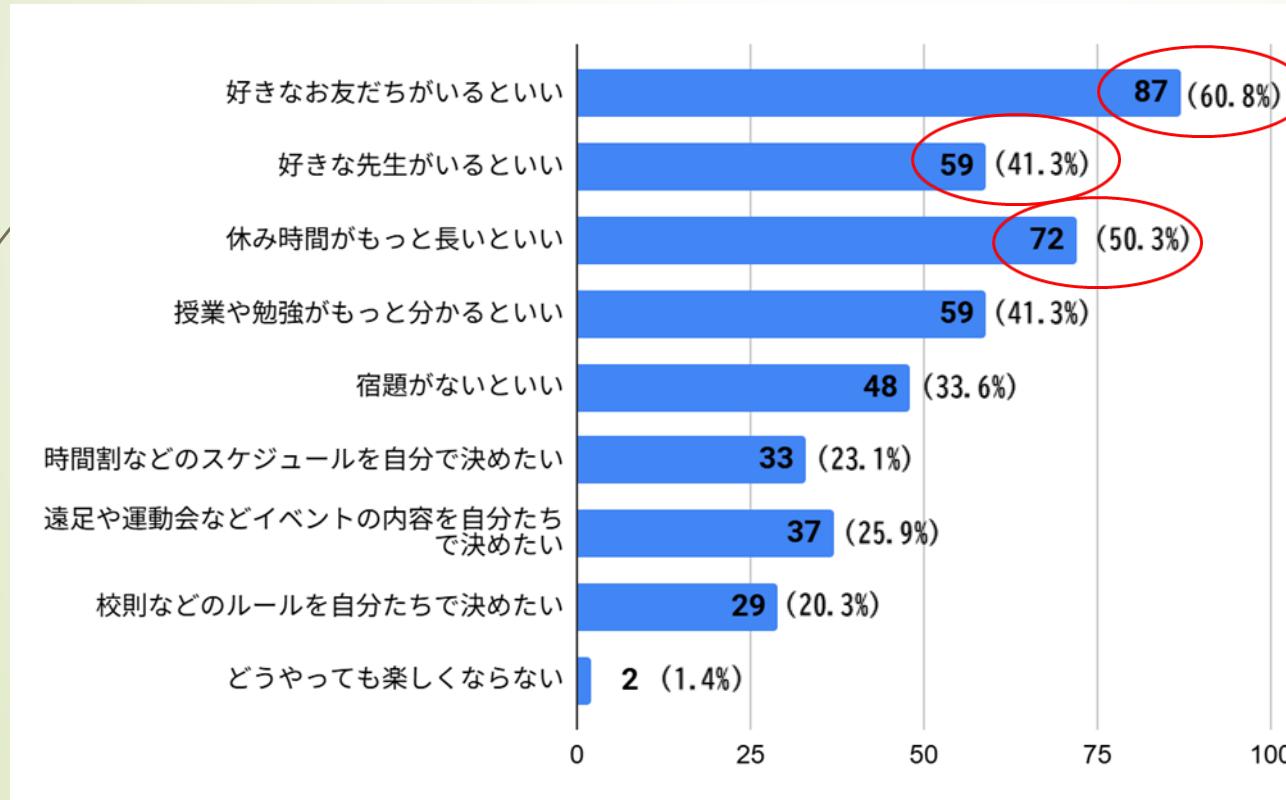
・国の進める「令和の学び」と、小学生の望む教育との一致も

- これから社会を生き抜く上で大切にしたいと、中教審などでも挙がる「協働的な学び」「探究的な学び」は、小学生たちにも歓迎されている/楽しいと実感されている

注目すべきデータ

学校が楽しいためには、好きなお友だちがいるといい、 休み時間がもっと長いといい、 好きな先生がいるといい、が上位

【Q03】どうすれば学校がもっと楽しくなりますか。当てはまるものをすべて選んでください。

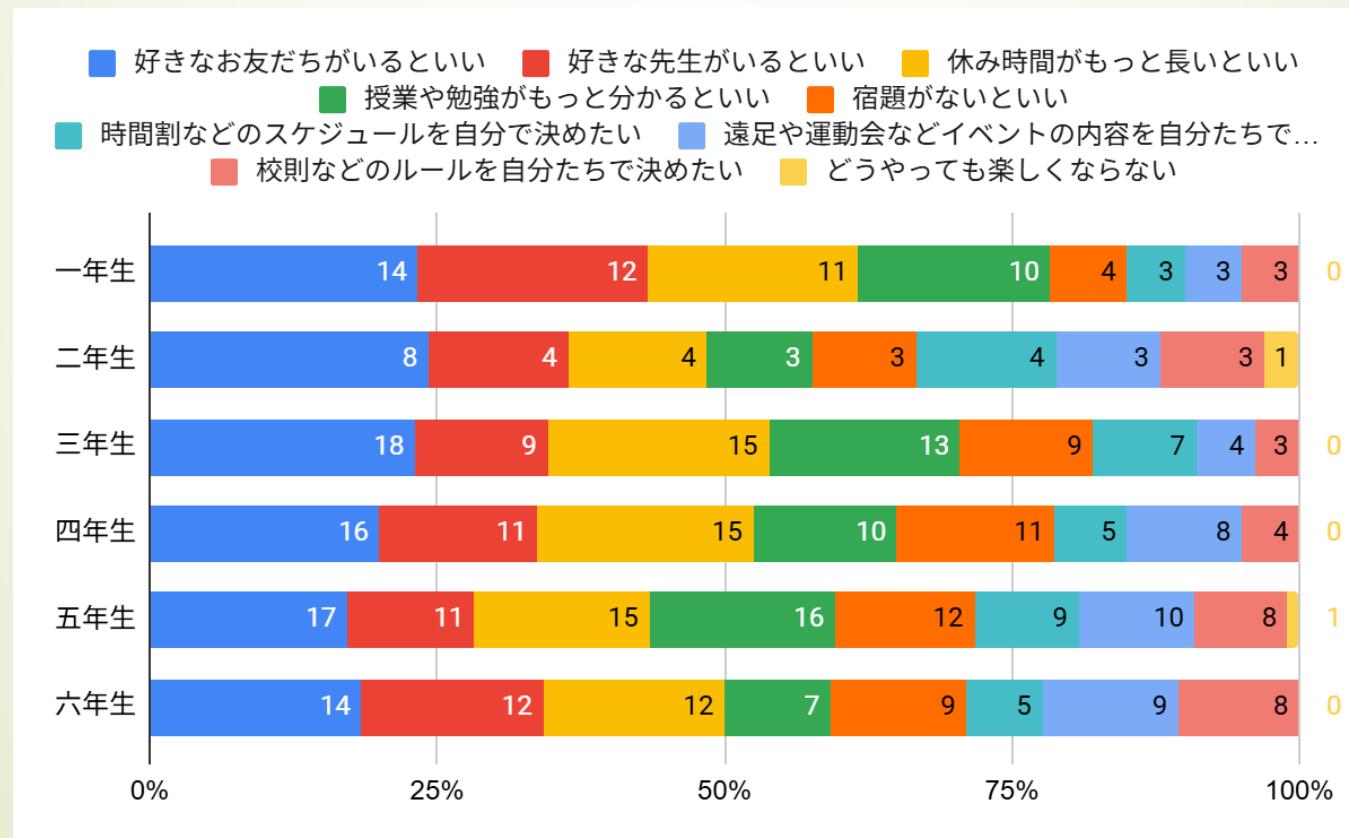


**教育課程（＝時間割）を
一層柔軟に編成できるようして、
休み時間を長くする必要がある。**

**ロング昼休みを積極的に進める
べき。**

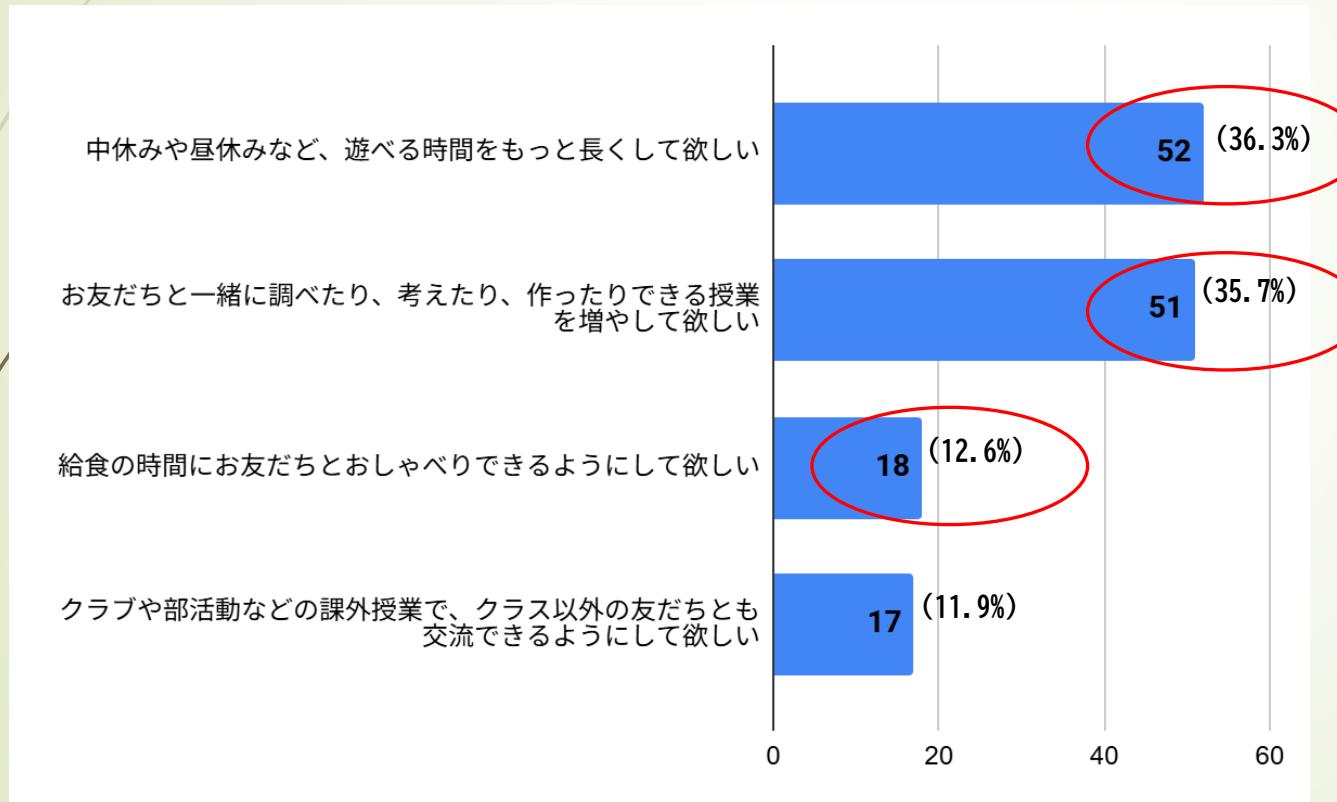
参考資料①： 学年が上がっても小学生の求める順位に 大きな変化はない

【Q03】どうすれば学校がもっと楽しくなりますか。当てはまるものをすべて選んでください。



遊べる時間ももっと長くして欲しいが、第1位 お友だちとの探求的な学びの時間が、第2位

【Q04】好きなお友だちは、どうすればできると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

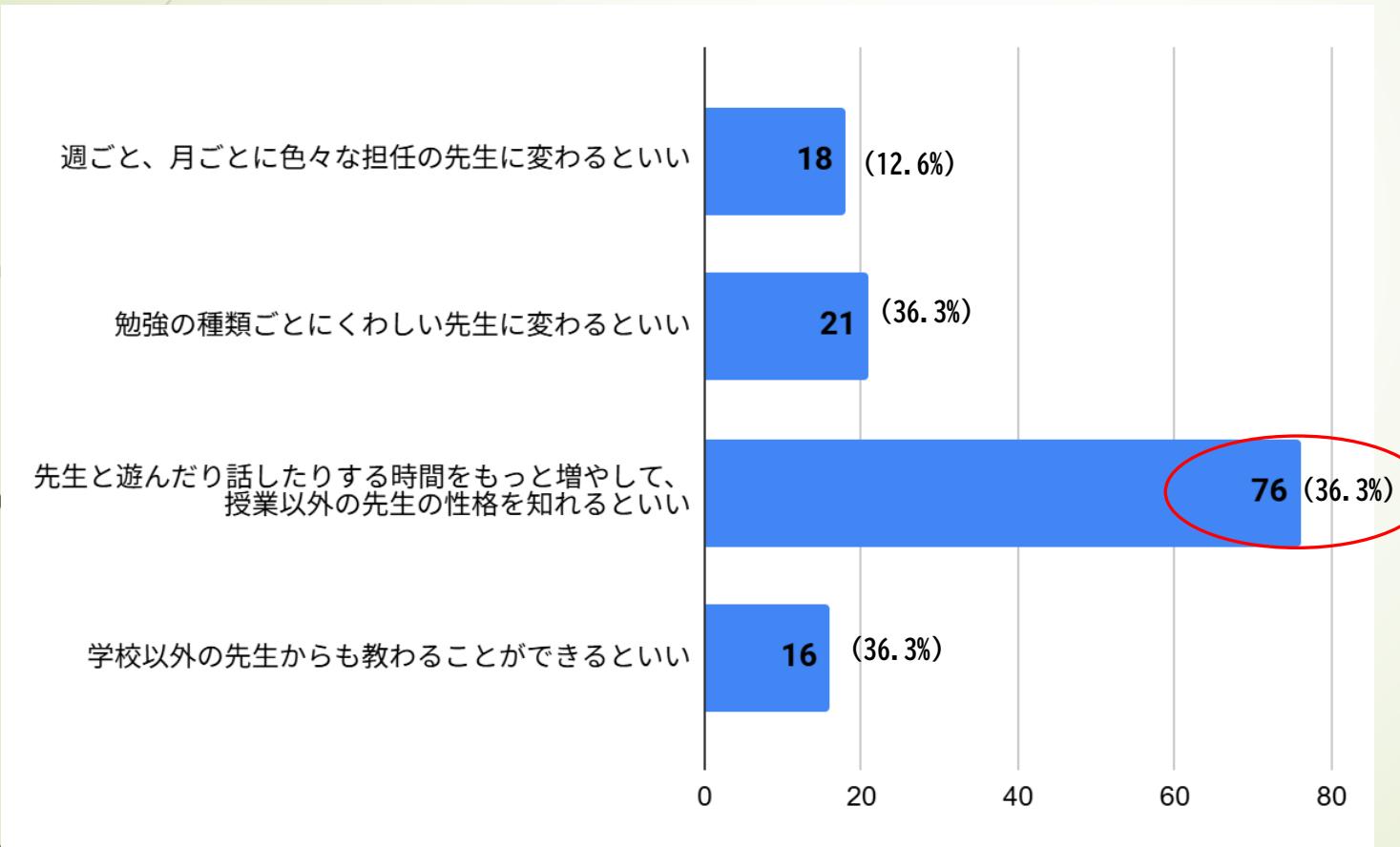


遊べる時間を長くするとともに、
友だちとの探求的な学びの充実も
必要！

給食時間がおしゃべりできずに窮屈
なことが伺える。
授業以外の子どもの過ごし方全般の
見直しも必要！

先生と遊ぶ時間を増やして、授業以外の先生の性格を知りたいが、第1位

【Q05】好きな先生は、どうすれば見つかると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。

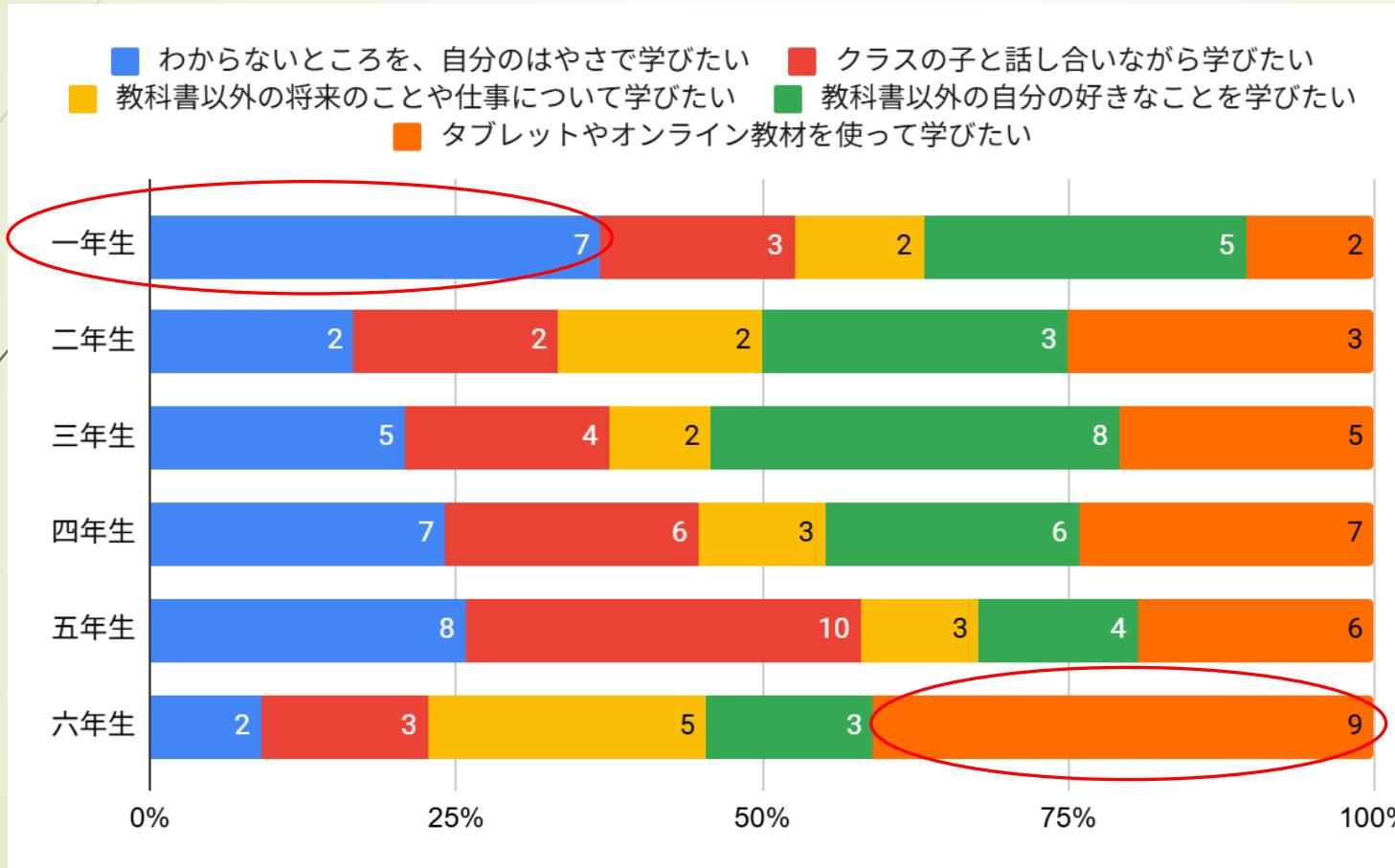


子どもたちは、授業以外の先生の性格を知ることで、好きな先生が見つかると思っている。

教員が授業以外に生徒と触れ合える時間の確保が必要。

学年によって求める授業の姿は変わる

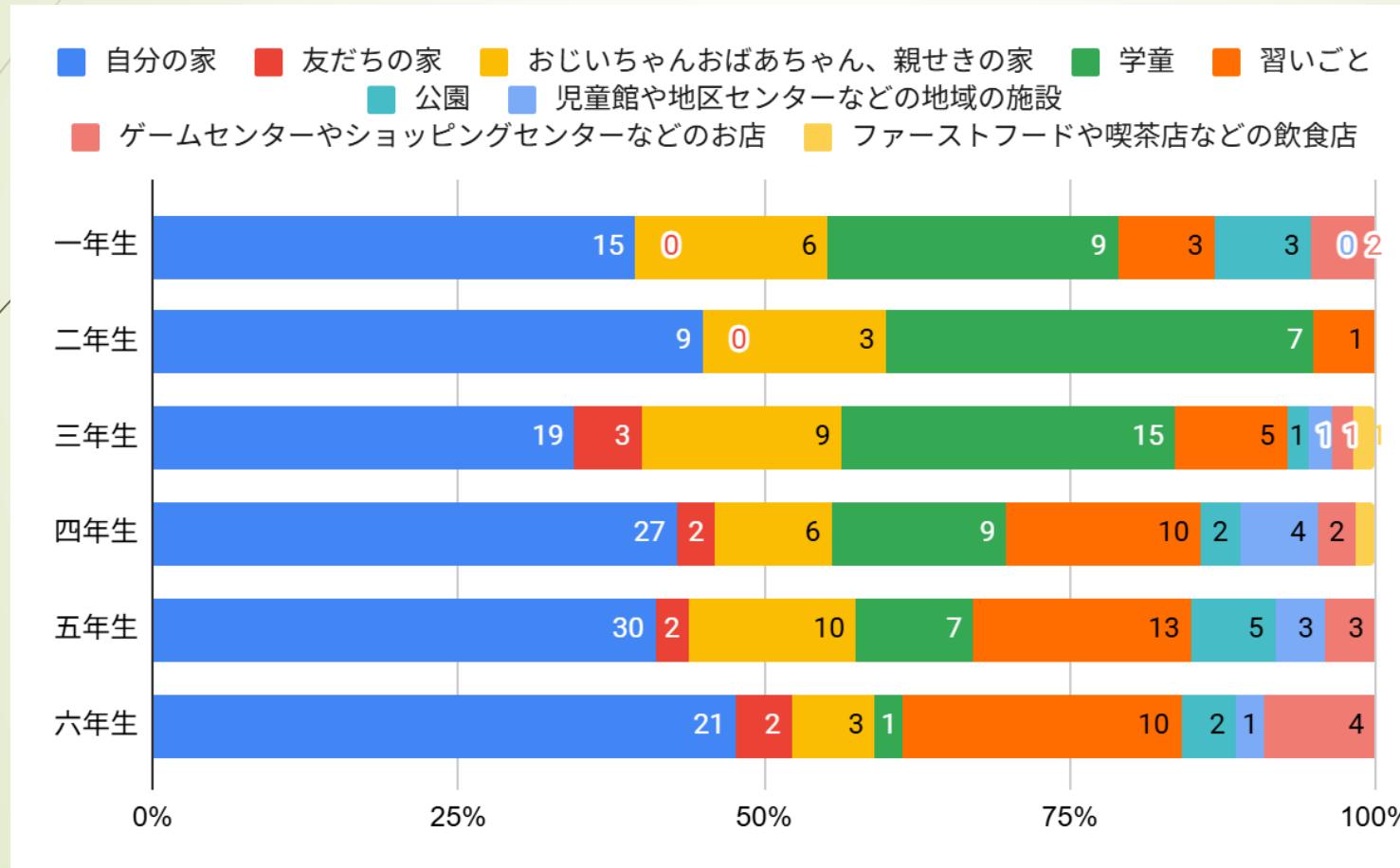
【Q06】授業のやり方について、どうすれば楽しくなりますか。



1年生は自分のペースで学習したいという意見が、6年生ではタブレット等のICT教材を活用したいという声が増えている。

長期の休みを過ごす場所は学年ごとに大きく変遷する

【Q07】夏休みなどの長いお休みの昼間、どこで過ごすことが多かったですか。当てはまるものを3つ選んでください。

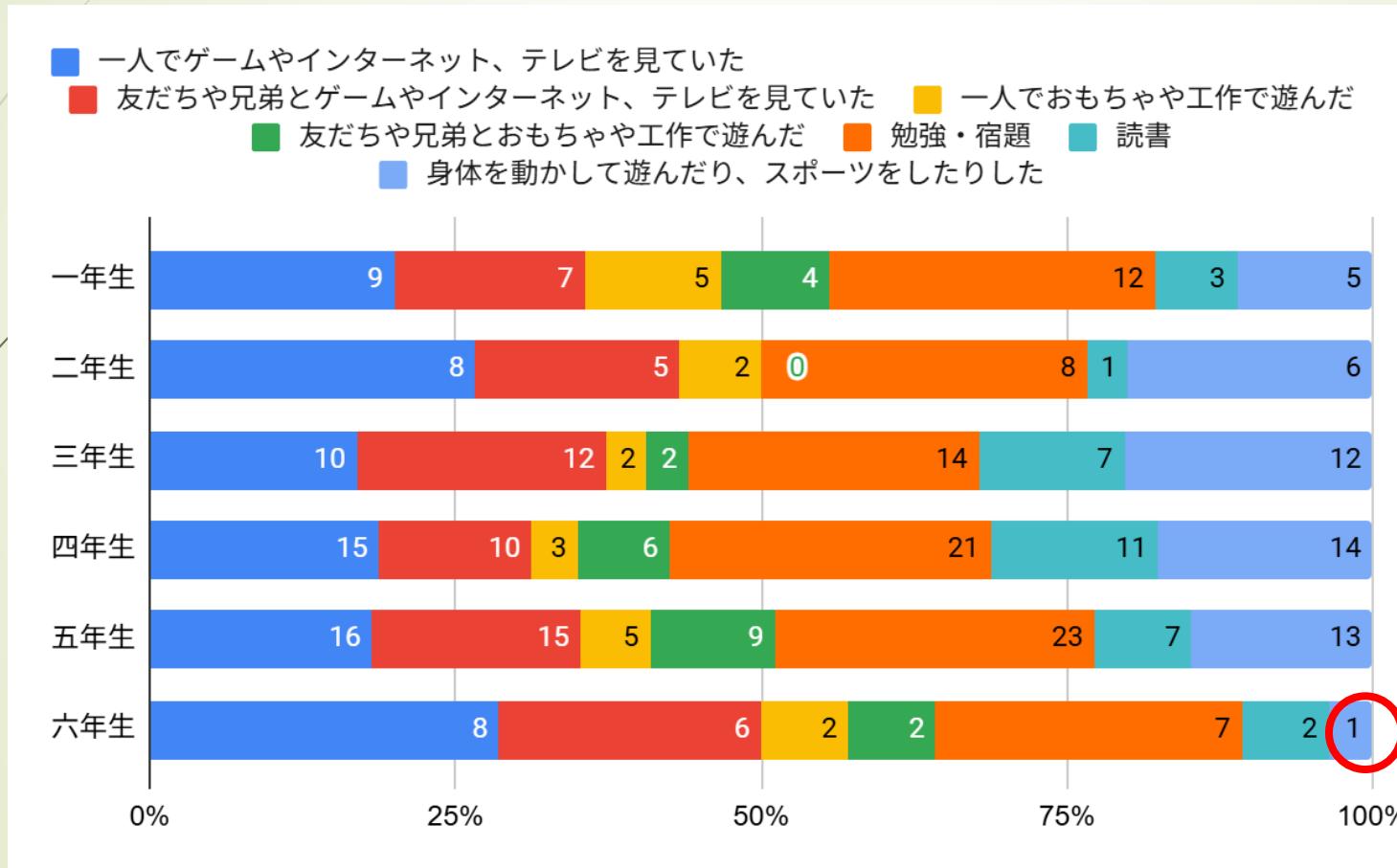


学年が上がると学童の利用が減少し、自宅で過ごす割合が増えます。

習い事の占める割合も、高学年に上がるに従って増加していく。

高学年になると長期の休みに運動をしなくなる

【Q08】夏休みなどの長いお休みの昼間、どのように過ごすことが多かったですか。

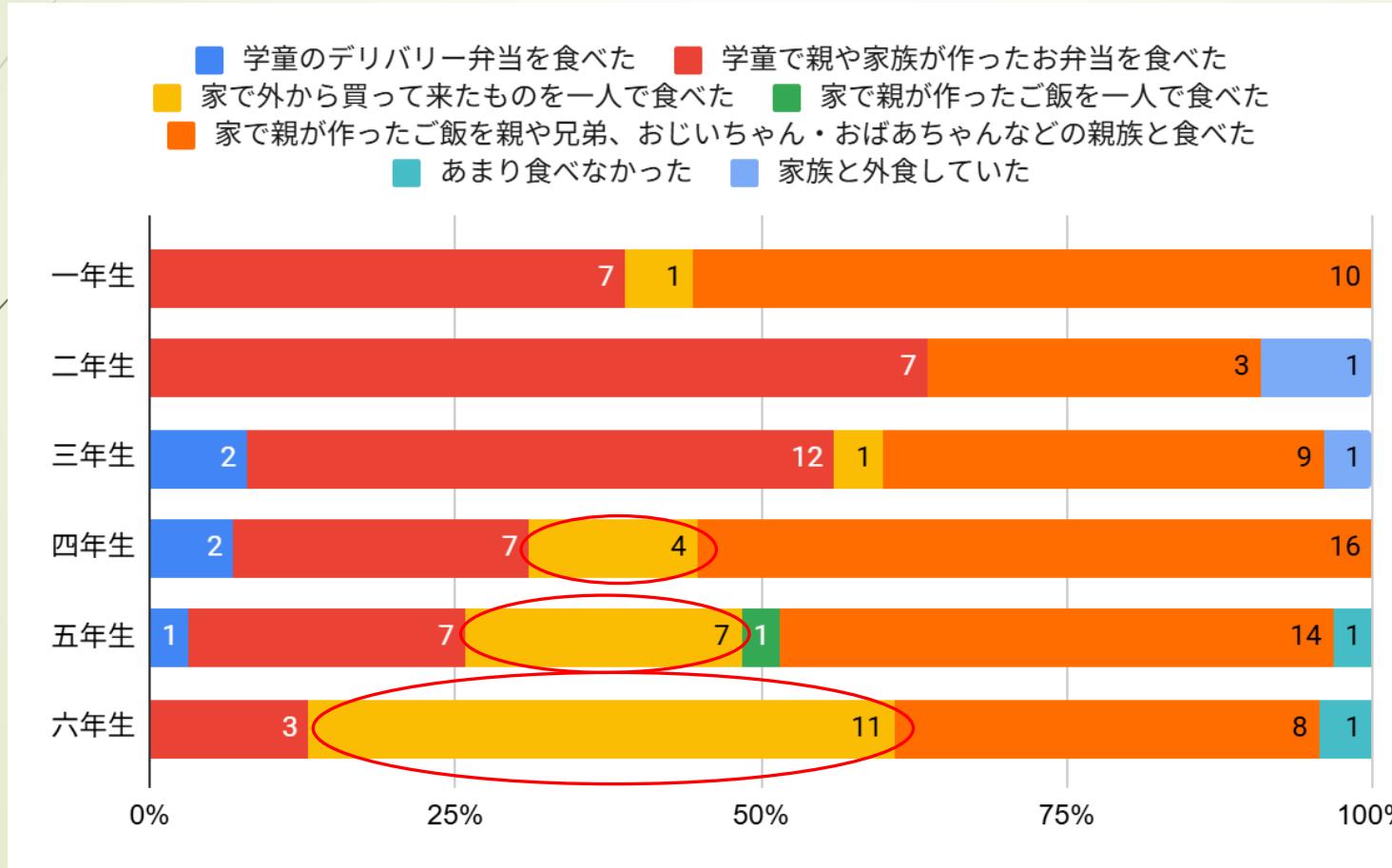


6年生は顕著に運動をしなくなっている。

勉強・宿題もしているが、ゲームやインターネット、テレビの利用も非常に多い。

長期の休暇中、高学年児童の孤食が増えてしまう

【Q09】夏休みなどの長いお休みのお昼ご飯は、どうすることが多かったですか。
当てはまるものを1つ選んでください。



孤食は学童の利用状況の増減と比例している。

昼食を買ってくるルールだったが、面倒で何も食べなかつたりおやつを食べて過ごした。
(東京都、六年生)
とのコメントもあった。

調査結果を踏まえた要望

要望①:教育課程（＝時間割）をより一層柔軟に

17

1. 子どもたちは「休み時間・遊べる時間」を求めている

〈理由〉

【Q02-B】 「c.あまり楽しくない d.楽しくない」を選んだ子に聞きます。
その理由はなんですか。当てはまるものをすべて選んでください。
の自由記述で「休み時間が少ないから」との回答が1件

【Q03】 どうすれば学校がもっと楽しくなりますか。当てはまるものをすべて選んでください。
に対して、「休み時間がもっと長いといい」を選択したのが72人(50.3%)

【Q04】 好きなお友だちは、どうすればできると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。
に対して、「中休みや昼休みなど、遊べる時間をもっと長くして欲しい」が52人(36.3%)で第1位

【Q10】 学校について、なにか思っていることがあれば教えてください。（自由記述）

◇宿題を減らしてほしい、時間割を短くしてほしい(3～5時間目まで)、休み時間を多くしてほしい、放課後遊べる時間を長くしてほしい（東京都3年生）

◇もっと学校の休み時間(中休みやお昼休みなど)が長かったらいい（東京都5年生）

◇休み時間を長くしてほしい（神奈川県1年生）

◇休み時間を長くして欲しい。友達との時間を多くしたい（千葉県4年生）

との記述が4件

◇習い事や塾などで忙し過ぎて、みんないつも「時間がない」って言ってる。（東京都、三年生）

要望①:教育課程（＝時間割）をより一層柔軟に

2. 子どもたちは「お友だちとの探求的な学びの時間（協働的な学び）」を求めている

〈理由〉

【Q04】好きなお友だちは、どうすればできると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。
「お友だちと一緒に調べたり、考えたり、作ったりでいる授業を増やして欲しい」との回答が51人（35.7%）で第2位

〈その他フリーコメント〉

- ◇答えが分かっていることを毎日やるのはつまらない。（東京都、二年生）
- ◇生活の授業を増やしてほしい。（神奈川県、二年生）
- ◇パソコンを自由に使いたい。（埼玉県、五年生）

3. 子どもたちは「授業以外に先生と遊ぶ時間」を求めている

〈理由〉

【Q05】好きな先生は、どうすれば見つかると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。
「先生と遊んだり話したりする時間をもっと増やして、授業以外の先生の性格を知れるといい」との回答が76人（36.3%）で第1位

中央教育審議会での議論などでは「令和の日本型学校教育」と題し、「個別最適な学び」「協働的な学び」の実践を推奨している。

いずれも、実社会がAIの台頭含め変化の激しい状況にあることを踏まえ、それに対応するとのできる「変化に対応する力」「自らの頭で考える力」「協働しながら取り組む力」を育む機会を、学校内でも提供していくこうというもの。

今回、子どもたちからも探究的・協働的な学びを歓迎する声が挙がったことを鑑み、具体的なガイドラインや運営法の提示など、取り組みの加速を期待したい。

参考資料②

➤ 「令和の日本型学校教育」

- ここ最近、中央教育審議会でもさかんに議論されている、学校教育のあり方

 文部科学省 MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

> サイトマップ > English 文字サイズの変更 小 中 大 Google Custom Search 検索

会見・報道・お知らせ | 政策・審議会 | 白書・統計・出版物 | 申請・手続き | 文部科学省の紹介

トップ > 政策・審議会 > 審議会情報 > 中央教育審議会 > 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（中教審第251号）

● 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（中教審第251号）

令和6年8月27日
中央教育審議会

中央教育審議会では、令和6年8月27日の第139回総会において「「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」を取りまとめました。

「令和の日本型学校教育」を担う 質の高い教師の確保のための環境整備に関する 総合的な方策について（答申）

- 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（PDF:1MB）
- 「令和の日本型学校教育」を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）【概要】（PDF:685KB）
- 中央教育審議会答申の考え方（PDF:434KB）

参考資料③

21

➤ 個別最適な学び + 協働的な学びへ

3.2020年代を通じて実現すべき「令和の日本型学校教育」の姿

2020年代を通じて実現を目指す学校教育
「令和の日本型学校教育」の姿

＼全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現／



子供の学び

- ✓ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」が一体的に充実されている
- ✓ 各学校段階において、それぞれ目指す学びの姿が実現されている

#個別最適な学び #協働的な学び
#主体的・対話的で深い学び #ICTの活用



教職員の姿

- ✓ 環境の変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けている
- ✓ 子供一人一人の学びを最大限に引き出す教師としての役割を果たしている
- ✓ 子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えている

#教師の資質・能力の向上 #多様な人材の確保 #家庭や地域社会との連携
#学校における働き方改革 #教職の魅力発信 #教職志望者の増加



子供の学びや
教職員を支える環境

- ✓ ICT環境の整備により全国の学校で指導・支援の充実、校務の効率化等がなされている
- ✓ 新しい時代の学びを支える学校教育の環境が整備されている
- ✓ 人口減少地域においても魅力的な教育環境が実現されている

#ICT環境の整備 #学校施設の整備
#少人数によるきめ細かな指導体制

要望②:コロナ以降も続く、窮屈なルールの見直しを！

たとえば、給食！

〈理由〉

【Q04】好きなお友だちは、どうすればできると思いますか。当てはまるものを1つ選んでください。
「給食の時間にお友だちとおしゃべりできるようにして欲しい」との回答が18人（12.6%）

1割の子たちは、給食の時間におしゃべり出来ていない⇒子どもたちの窮屈さに繋がっている

(給食時間に音楽がかかっていない、とも聞く)

〈フリーコメント〉

- ◇給食がもっと美味しくなるといい。（東京都、三年生）
- ◇給食をもっとたくさん食べたい。（埼玉県、一年生）

〈その他フリーコメント〉

- ◇体育の時も長い靴下や髪を結ばない等、服装の自由を認めてほしい。給食の時間はお喋りしてもいいようにしてほしい。（神奈川県、三年生）
- ◇ずっと座っているのがいやだ。（埼玉県、四年生）
- ◇友だちとあそぶのはたのしいけど授業中ずっとすわってないといけないのがいや。つまらない。（埼玉県、四年生）

要望③:学年ごとのニーズに合わせた授業を!

〈理由〉

【Q06】授業のやり方について、どうすれば楽しくなりますか。

1年生は「わからないところを自分のはやさで学びたい」との回答が7人で最多多い。

一方、6年生は「タブレットやオンライン教材を使って学びたい」との回答が9人で最多多い。

つまり、学年が低いと、個別最適な学び（習熟度別授業・自由進度学習）を求め、
学年が高いとタブレットなどのICT化をも求める傾向にある。

要望④:小学校中学年以上の長期休みの居場所として 学習支援教室の拡充を！

〈理由〉

【Q08】夏休みなどの長いお休みの昼間、どのように過ごすことが多かったですか。

「身体を動かして遊んだり、スポーツをしたりした」との回答が、6年生はたった1人で最下位。

【Q09】夏休みなどの長いお休みのお昼ご飯は、どうすることが多かったですか。当てはまるものを1つ選んでください。「家で外から買って来たものを一人で食べた」との回答が、6年生は11人で第1位。

〈その他フリーコメント〉

◇夏休みは、児童館以外のエアコンがある場所がたくさんあったり、お昼を食べたりできて自由に集まれる場所があったら嬉しい。（東京都、五年生）

◇親が仕事なので留守番仲間と集まって遊んだりごはんを食べる場所が近くにほしい。（千葉県、五年生）

- ・全国の多くの市区町村で、学校外の居場所づくり事業が実施されているが、困窮世帯やひとり親家庭を対象としたケースが大半

- ・一部地域で実践されている、居場所機能も伴った、参加資格制限のない学習支援教室の取り組みをもっと広げることができないか

- ・現状では参加者のうち困窮世帯等の子ども分についてのみ国からの補助金が提供されているが、ここに不登校ぎみの子どもや居場所の足りていない子どもたちについても補助金の提供対象とできないか
(学習支援教室事例)

大阪府寝屋川市

https://www.city.neyagawa.osaka.jp/organization_list/kyoikuinkajimukyoku/kyoukusidou/1473769247616.html など

はぐくむ超党派地方議員の会とは



実際に養育中の子どもを抱える超党派の地方議員（性別問わず）から成る任意団体です。本調査に関心のある有志で活動している団体で、以下のメンバーからなります。

ゆざ まさ子

昭島市議会議員
/立憲民主党



〈アドバイザー〉

森崎 晃

東京学芸大学客員准教授
関西国際大学客員准教授



おさかべ さや
か

横浜市議会議
員/自由民主党



飯豊 あきひさ

四街道市議会
議員/国民民主
党



かんべ 鉄郎

所沢市議会議
員/日本維新の
会

